

学校認知行動療法研修会・指導者養成6時間ワークショップ

# 不安への対処力を養う 認知行動療法の授業実践

(小学校高学年～中学生向けの、10回の授業で行う予防プログラムです)

日時: 令和元年7月29日(月)9:30-16:30 (9時受付開始)

会場: 千葉大学亥鼻キャンパス (千葉市中央区亥鼻1-8-1)

講師: 浦尾悠子 (千葉大学子どものこころの発達教育研究センター特任助教)

ファシリテーター: 小柴孝子(千葉大学子どものこころの発達教育研究センター特任研究員)

主催: 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

後援: 千葉県教育委員会、千葉市教育委員会(申請中)

参加費  
無料

定員45名程度

※事前申し込み制です。  
申し込み方法の詳細は、  
裏面をご覧ください。

## ◆ ワークショップの主な内容

1. 不安予防プログラムの紹介
2. ロールプレイによる授業実践
3. 質疑応答
4. 指導者認定証の授与

## ◆ 主な受講対象者

小中学校の教諭、養護教諭、スクールカウンセラー、その他、学校現場で子どものこころの教育に携わっている方

(学級活動、総合的な学習の時間、道徳などの授業実践に、授業実践をご検討いただける先生であれば、どなたでもご参加いただけます。)



文部科学省委託事業  
子どもみんな  
プロジェクト

認知行動療法に基づく予防教育プログラムの指導者を養成します。  
不安の問題に対処する知識とスキルを、授業で教えてみませんか？

## ◆ ワークショップの目的

子どもたちは様々な不安の問題を抱えており、それが学校生活での不応（問題行動・不登校等）や学業成績の不振につながる場合も多くあります。その解決法として、不安の感情をコントロールする目的で、考え方（認知）や行動のパターンを見直す認知行動療法が、医療機関で実施されています。また近年、学校現場において、学級集団を対象に認知行動療法に基づく指導を行うことで、子どもたちの不安の点数を低減することが実証できています。

本ワークショップでは、小学校5～6年生から中学生の児童生徒向けに、学校で行う認知行動療法の授業を実践できるようになるためのワークショップです。

## ◆ お申し込み・お問い合わせ先

千葉大学子どもまごころの発達教育研究センター  
「勇者の旅」プログラム担当

Email: [yuushanotabi@chiba-u.jp](mailto:yuushanotabi@chiba-u.jp)

- ①氏名（ふりがな） ②性別 ③所属 ④職種 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス\* ⑦今年度実践（あり・なし・未定）を明記の上、**7月12日（金）**までに、上記メールアドレスまでお申し込み下さい。
- 今年度に勤務校にて授業実践予定の先生方は、優先的に本研修をご受講いただくことができますので、⑦に詳細をご記入ください。
- お申し込みが定員を超えた場合、抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- 抽選の結果等につきましては、7月19日（金）までに、⑥のメールアドレスへお送りいたします。

## ◆ 会場（医薬系総合研究棟Ⅱ）のご案内



JR千葉駅東口の7番の乗り場から、京成バス「大学病院」行きまたは「南矢作」行きに乗車し、「千葉大学薬学部前」で下車してください。千葉駅から6番目のバス停で所要約15分です。

## 【文部科学省委託事業】

本事業は、平成26年7月24日の文部科学省「情動の科学的解明と教育等への応用に関する調査研究協力者会議（審議のまとめ）」の提言を受け、研究と教育の現場をつなぐ目的で立ち上げられたものであり、平成27年度予算に基づき文部科学省の委託事業として大学コンソーシアム（大阪大学を基幹大学に、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学、福井大学、鳥取大学、弘前大学、兵庫教育大学、武庫川女子大学、中京大学の10大学）により行われるものです。

## 【平成31年度いじめ対策等生徒指導推進事業】

脳科学・精神医学・心理学等と学校教育の連携の在り方「子どもみんなプロジェクト」のご案内

本取り組みでは、不登校、いじめ、子どもの問題行動とともに、子どもたちみんなの育ちと学びについて、教育実践者と基礎的学問領域の研究者がそれぞれの立場から、課題について考え、その解決策を探ります。(URL <http://smilesupporter.wix.com/kodomo>)

千葉大学  
子どものまごころの発達教育研究センター

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1 電話：043-226-2975 Fax：043-226-8588